

3826グループ 製品別相違点

株式会社 ルネサス テクノロジ
株式会社 ルネサスLSIデザイン
株式会社 ルネサス ソリューションズ

対象製品

- ・ エミュレータMCU 標準品
M38267RLFS
- ・ ワンタイムPROM版 標準品
M38267E8FP/GP、 M3826AEFFP/GP
- ・ マスクROM版 L version (低電圧(2.2V)品)
M38267M8LXXXFP/GP、 M38268MCLXXXFP/GP、 M3826AMFLXXXFP/GP
- ・ マスクROM版 A version
M38268MCA-XXXFP/GP、 M3826AMFA-XXXFP/GP

注意事項

同一グループ内のマスクROM版、ワンタイムPROM版、メモリ容量などが異なる製品は、製造プロセス、内蔵ROM、レイアウトパターンの相違などにより、電気的特性の範囲内で特性値、動作マージン、A-D変換精度、ノイズ耐量、ノイズ輻射量などの実力値が異なる場合があります。

これらの製品を切り替えて使用される場合は、製品仕様をご確認の上、個々の製品毎にシステム評価を実施してください。

本資料は、相違点を示したものであり、すべての仕様や規格を示しているものではありません。最新版のデータシートで詳細仕様及び電気的特性をご確認ください。

1.1 製品別相違点

		ワンタイムPROM版(標準品)		マスクROM版(L version)		マスクROM版(A version)
		38267E8	3826AEF	38267M8L	38268MCL, 3826AMFL	38268MCA, 3826AMFA
ROM/RAMサイズ[byte]		32K/1K	60K/2.5K	32K/1K	60K/2.5K, 48K/1.5K	60K/2.5K, 48K/1.5K
発振回路定数		製品毎にXIN-XOUT、XCIN-XCOUTの発振回路定数が異なる場合があります。				
ヒステリシス特性(3.項参照)		ほぼ一定			電源電圧と共に幅が狭くなる	
周辺機能入力端子の回路構成		4.項参照				
サブクロック発振回路		レギュレータなし				レギュレータあり
VPP電源端子処理(P70)		入力インピーダンスが低いいため端子に直列抵抗(5k)必要。		直列抵抗不要		
絶対最大定格	電源電圧(Vcc) 入力電圧(C1,C2) 出力電圧(VL3) 出力電圧(C1,C2)	-0.3V ~ 7.0V			-0.3V ~ 6.5V	
	入力電圧(VL3)	VL2 ~ 7.0V			VL2 ~ 6.5V	
電源電流		6.項参照				
電源電圧(Vcc)/ メインクロック入力周波数		7.1、7.2項参照				
RAM保持電圧(最小)		2.0V				1.8V
IVREF 入力電流(DA)		6.0mA	3.2mA	6.0mA	3.2mA	
VLI電源電圧(昇圧回路使用時)		1.3V ~ 2.3V			1.3V ~ 2.1V	
タイマX,Y入力周波数(最大) f(CNTR0), f(CNTR1)		2.5 Vcc 4.0V : (2 × Vcc-4) MHz 4.0 Vcc 5.5V : 4 MHz	2.5 Vcc 4.0V : (2 × Vcc-4) MHz 4.0 Vcc 5.5V : 4 MHz	2.2 Vcc 4.0V : (10 × Vcc-4)/9 MHz 4.0 Vcc 5.5V : 4 MHz	2.2 Vcc 4.0V : (10 × Vcc-4)/9 MHz 4.0 Vcc 5.5V : 4 MHz	1.8 Vcc 2.0V : (5 × Vcc-8) MHz 2.0 Vcc 4.0V : (Vcc) MHz 4.0 Vcc 4.5V : (2 × Vcc-4) MHz 4.5 Vcc 5.5V : 5 MHz

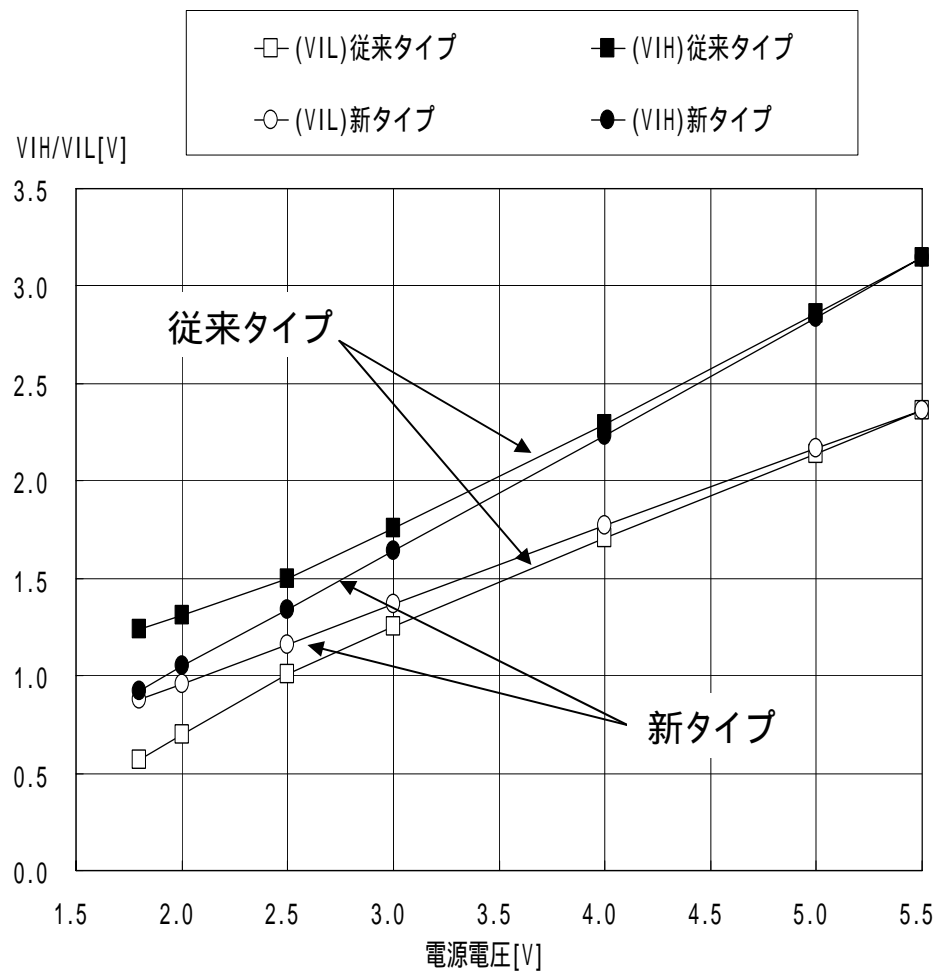
マスクROM版（L version、A version）とワンタイムPROM版の製品毎にXIN-XOUT、XCIN-XCOUTの発振回路定数が異なる場合があります。

量産でご使用になる製品が、お客様のシステム・条件で安定した動作クロックを得られるように、発振子メーカーとご相談の上で、発振子および発振回路定数を選定してください。 ご使用になる電圧範囲や温度範囲が広い場合は特にご注意ください。

また、あらかじめ帰還抵抗、ダンピング抵抗、負荷容量の配線パターンを考慮した回路設計をして頂くことを推奨いたします。

参考測定データとして、ルネサス テクノロジ ホームページに参考発振回路定数を掲載しています。 <http://www.renesas.com/jp/38000>

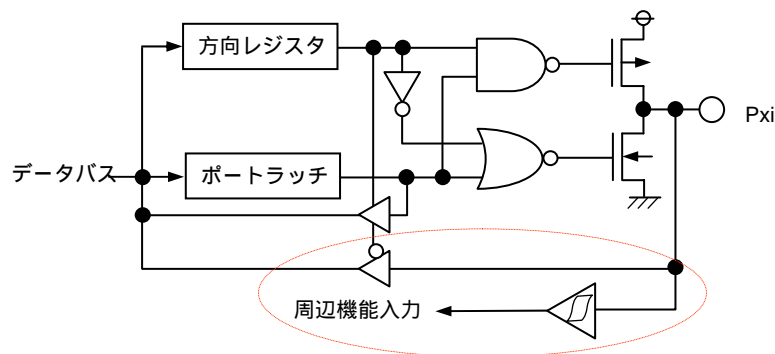
3. ヒステリシス特性



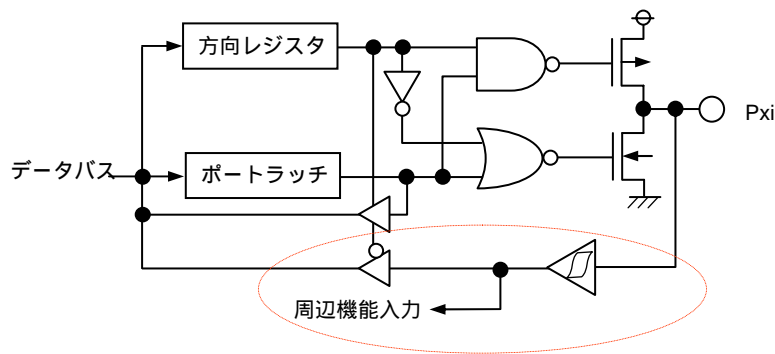
		従来タイプ	新タイプ
エミュレータMCU			
ワンタイムPROM版			
マスクROM版	38267M8L		
	38268MCL		
	3826AMFL		
	38268MCA		
	3826AMFA		

注. これは特性例です。保証はできません。

4. 周辺機能入力端子の回路構成



タイプA



タイプB

タイプA : 周辺機能入力レベルとポート入力レベルは必ずしも一致しない。

タイプB : 周辺機能入力レベルとポート入力レベルは一致する。
(ただし、ポート入力もヒステリシスを持つ。)

		タイプA	タイプB
エミュレータMCU			
ワンタイムPROM版			
マスクROM版	38267M8L		
	38268MCL		
	3826AMFL		
	38268MCA		
	3826AMFA		

該当端子

P20 ~ P27, P41/INT1, P42/INT2, P44/RxD, P46/SCLK1,
P54/CNTR0, P55/CNTR1, P57/ADT, P60/SIN2, P62/SCLK21,
P70/INT0

5. LCD用電源端子

M38267M8L、
M38267E8相当

VL3降下電圧=2.2V

M3826AEF相当

VL3降下電圧=2.2V

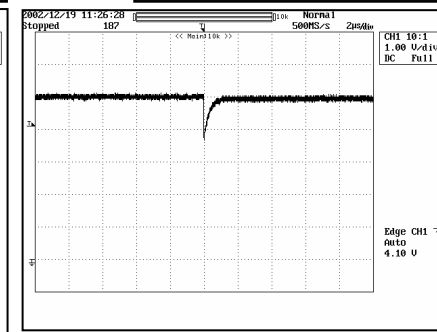
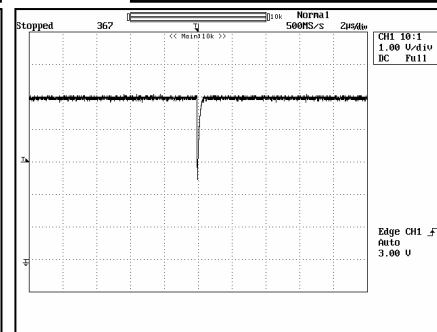
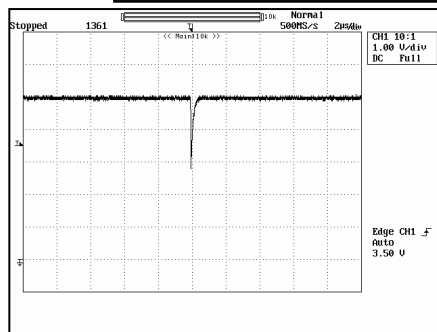
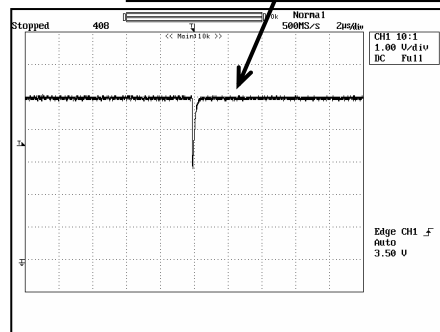
M38268MCL、
M3826AMFL相当

VL3降下電圧=2.5V

M38268MCA、
M3826AMFA相当

VL3降下電圧=1.4V

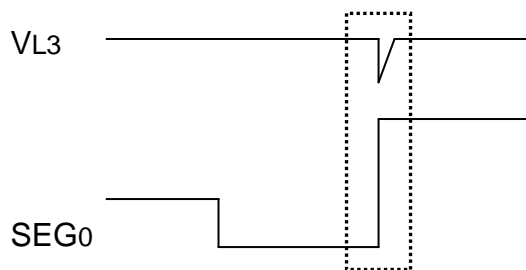
VL3



注. これは特性例です。保証はできません。

< 測定条件 >

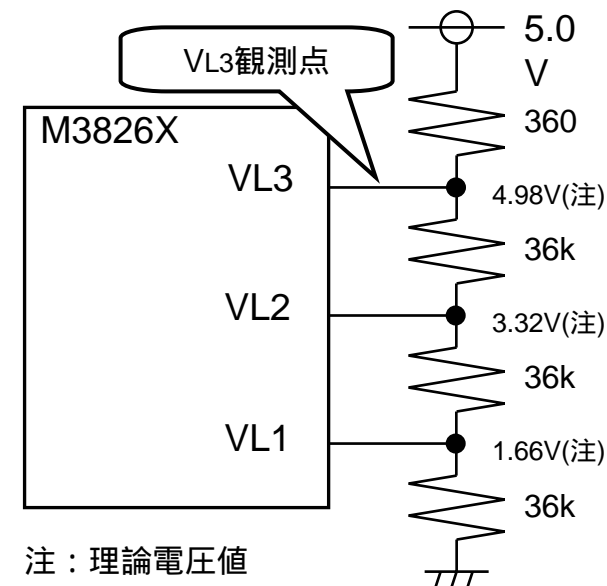
- SEG専用端子のみLCD波形出力
- PORT/SEG兼用端子はPORT機能
- COM/SEG端子はOpen。(無負荷)
- LCDRAMデータは全て55H



電圧降下はLCDCK周期で発生

右図配線パターンは短くしてください。

電圧を安定させるため、LCD用電源端子(VL1、2、3)近くに、Vssに対してコンデンサを入れてください。(参考値：0.1 ~ 0.33 μ F)

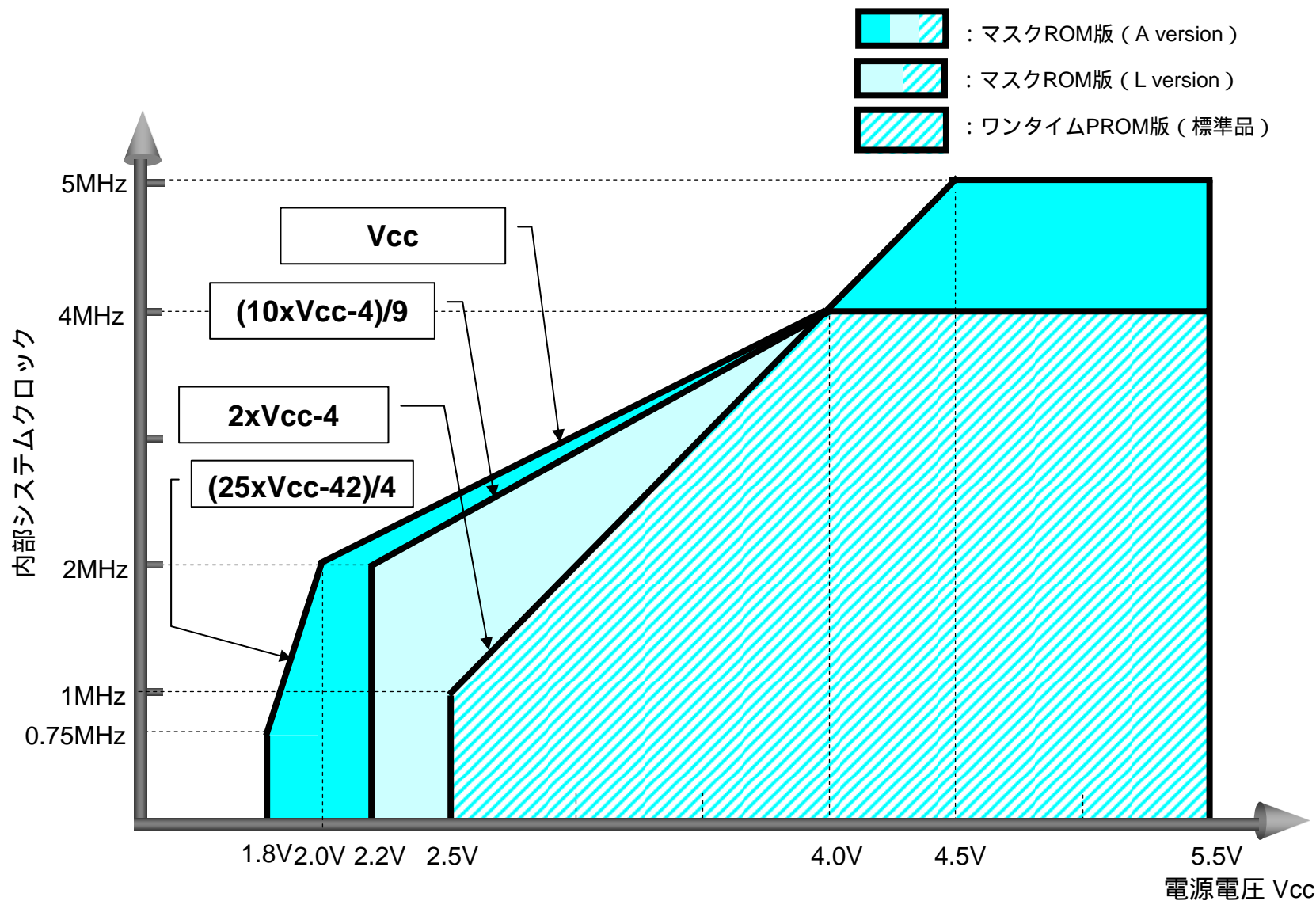


注：理論電圧値

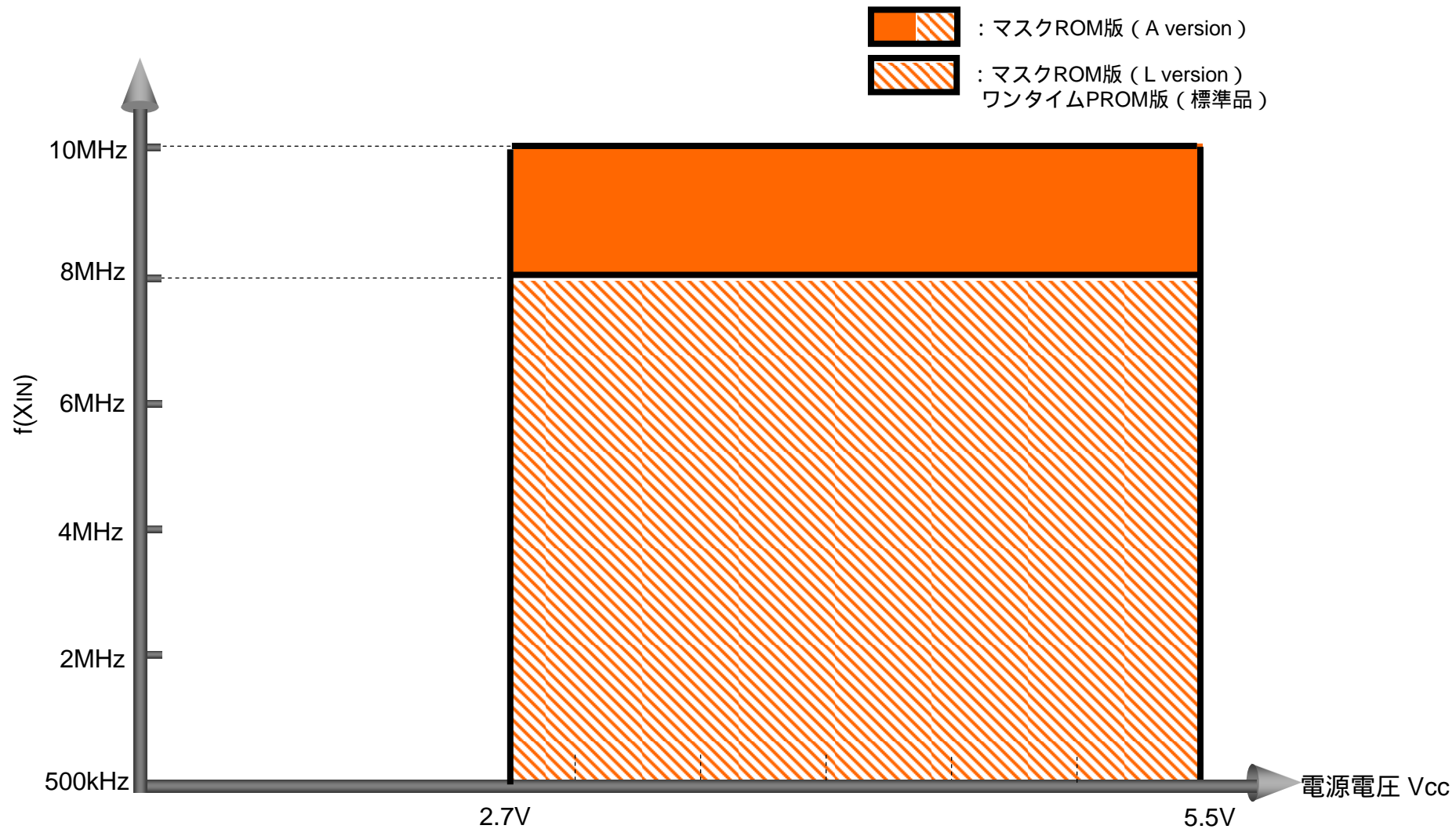
6. 電気的特性(電源電流)

記号	項目	測定条件	38267M8L 38267E8		38268MCL 3826AMFL 3826AEF		38268MCA 3826AMFA		単位
			標準	最大	標準	最大	標準	最大	
			I _{CC}	電源電流	高速モード時、V _{CC} =5V、f(XIN)=10MHz、f(XCIN)=32.768kHz 出力トランジスタは遮断状態、A-D変換器動作中	-	-	-	
		高速モード時、V _{CC} =5V、f(XIN)=8MHz、f(XCIN)=32.768kHz 出力トランジスタは遮断状態、A-D変換器動作中	8.0	15	8.0	15	4.5	9.0	mA
		高速モード時、V _{CC} =5V、f(XIN)=8MHz、f(XCIN)=32.768kHz WIT命令実行時、出力トランジスタは遮断状態、A-D変換器終了状態	2.5	4.0	2.5	4.0	1.2	2.4	mA
		低速モード時、V _{CC} =5V、T _a 55、f(XIN)=停止、f(XCIN)=32.768kHz 出力トランジスタは遮断状態	45	67	45	67	15	30	μA
		低速モード時、V _{CC} =5V、T _a =25、f(XIN)=停止、f(XCIN)=32.768kHz WIT命令実行時、出力トランジスタは遮断状態	23	46	23	46	7	14	μA
		低速モード時、V _{CC} =3V、T _a 55、f(XIN)=停止、f(XCIN)=32.768kHz 出力トランジスタは遮断状態	18	36	18	36	9	18	μA
		低速モード時、V _{CC} =3V、T _a =25、f(XIN)=停止、f(XCIN)=32.768kHz WIT命令実行時、出力トランジスタは遮断状態	8.0	16	8.0	16	4.5	9	μA
		STP命令実行時、T _a =25、f(XIN)=停止、f(XCIN)=停止 出力トランジスタは遮断状態	0.5	10	0.1	1.0	0.1	1.0	μA
		STP命令実行時、T _a =55、f(XIN)=停止、f(XCIN)=停止 出力トランジスタは遮断状態	-	60	-	-	-	-	μA
		STP命令実行時、T _a =85、f(XIN)=停止、f(XCIN)=停止 出力トランジスタは遮断状態	-	-	-	10	-	10	μA

7.1. 動作電源電圧範囲 -A-D、D-A動作除く-



7.2. A-D動作電源電圧範囲



お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサス テクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサス エレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日
ルネサス エレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサス エレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】<http://japan.renesas.com/inquiry>

ご注意書き

1. 本資料に記載されている内容は本資料発行時点のものであり、予告なく変更することがあります。当社製品のご購入およびご使用にあたりましては、事前に当社営業窓口で最新の情報をご確認いただきますとともに、当社ホームページなどを通じて公開される情報に常にご注意ください。
2. 本資料に記載された当社製品および技術情報の使用に関連し発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権の侵害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
3. 当社製品を改造、改変、複製等しないでください。
4. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。お客様の機器の設計において、回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合には、お客様の責任において行ってください。これらの使用に起因しお客様または第三者に生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
5. 輸出に際しては、「外国為替及び外国貿易法」その他輸出関連法令を遵守し、かかる法令の定めるところにより必要な手続を行ってください。本資料に記載されている当社製品および技術を大量破壊兵器の開発等の目的、軍事利用の目的その他軍事用途の目的で使用しないでください。また、当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器に使用することができません。
6. 本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。
7. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」、「高品質水準」および「特定水準」に分類しております。また、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使われることを意図しておりますので、当社製品の品質水準をご確認ください。お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途に当社製品を使用することができません。また、お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、意図されていない用途に当社製品を使用することができません。当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途または意図されていない用途に当社製品を使用したことによりお客様または第三者に生じた損害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。なお、当社製品のデータ・シート、データ・ブック等の資料で特に品質水準の表示がない場合は、標準水準製品であることを表します。
標準水準： コンピュータ、OA 機器、通信機器、計測機器、AV 機器、家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット
高品質水準： 輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通用信号機器、防災・防犯装置、各種安全装置、生命維持を目的として設計されていない医療機器（厚生労働省定義の管理医療機器に相当）
特定水準： 航空機器、航空宇宙機器、海底中継機器、原子力制御システム、生命維持のための医療機器（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの、治療行為（患部切り出し等）を行うもの、その他直接人命に影響を与えるもの）（厚生労働省定義の高度管理医療機器に相当）またはシステム等
8. 本資料に記載された当社製品のご使用につき、特に、最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他諸条件につきましては、当社保証範囲内でご使用ください。当社保証範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
9. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めておりますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は耐放射線設計については行っておりません。当社製品の故障または誤動作が生じた場合も、人身事故、火災事故、社会的損害などを生じさせないようお客様の責任において冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、機器またはシステムとしての出荷保証をお願いいたします。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様が製造された最終の機器・システムとしての安全検証をお願いいたします。
10. 当社製品の環境適合性等、詳細につきましては製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制する RoHS 指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。お客様がかかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
11. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを固くお断りいたします。
12. 本資料に関する詳細についてのお問い合わせその他お気付きの点等がございましたら当社営業窓口までご照会ください。

注 1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサス エレクトロニクス株式会社およびルネサス エレクトロニクス株式会社とその総株主の議決権の過半数を直接または間接に保有する会社をいいます。

注 2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注 1 において定義された当社の開発、製造製品をいいます。